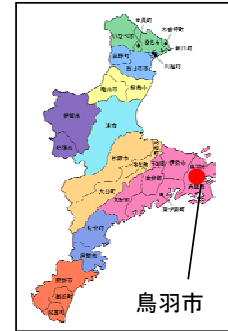


鳥羽市地域公共交通会議

平成18年12月28日設置
平成21年3月9日連携計画策定



概要

鳥羽市は、近鉄・JR、路線バス、市営定期航路等の多様な交通手段を有しています。また需要面でも市民の生活交通に加え、市の主要産業のひとつである観光産業に起因する観光交通を有しています。利用者数が減少する中で、路線バス・市営定期航路が一体となった「鳥羽市コミュニティ交通システム」の確立を目指し、様々な取り組みを進めます。(定期航路は別途掲載)

○バス路線網再編成事業・ゾーン制運賃実証運行事業

(i)バス路線網再編成事業

- ①路線再編(実証運行)計画を進めます。
- ②バス停新設計画を進めます。

(ii)各種制度設計

- ①ゾーン制運賃(初乗り200円、1ゾーン当り100円加算)採用
- ②回数券利用割引制度を導入します。
- ③企業協賛制度を導入します。

○バスイメージアップ事業・広報事業

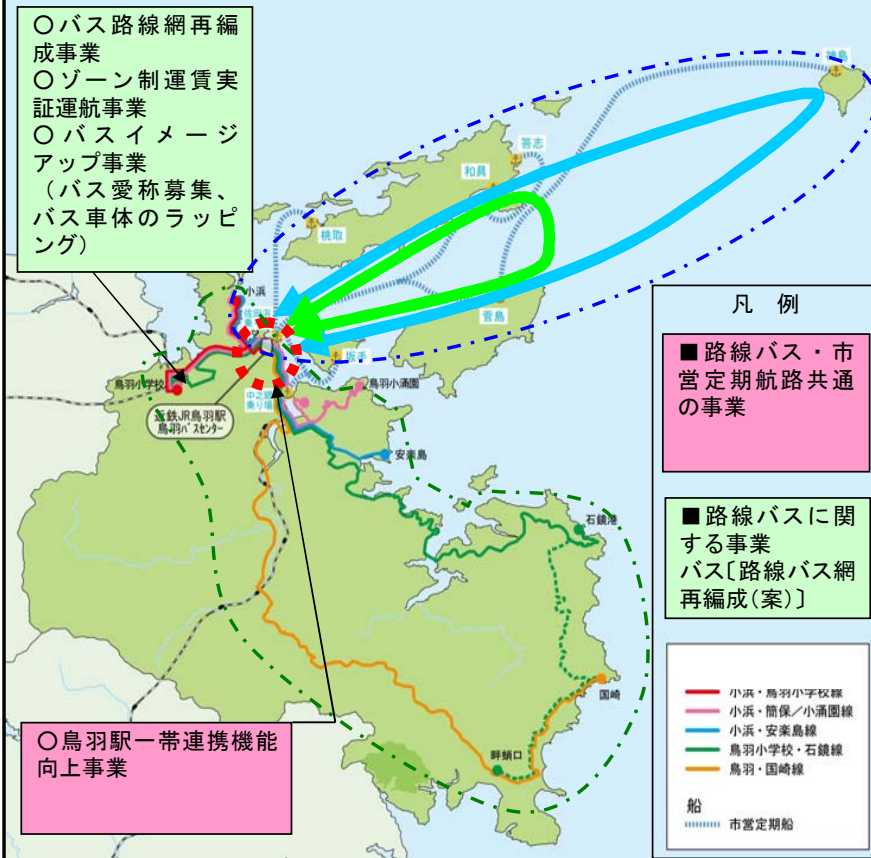
(i)市民のバスに対する認知向上、マイバス意識の向上及びバス利用促進を図ります。

- ①バス愛称募集の実施 ②バス車体のラッピングの実施
- (ii)市民にとって分かりやすく、また公共交通利用のきっかけ提供・公共交通の利用促進を促すため、市民には地区毎に、観光客には周遊観光コースが分かるリーフレットを作成します。

○鳥羽駅一帯連携機能向上事業

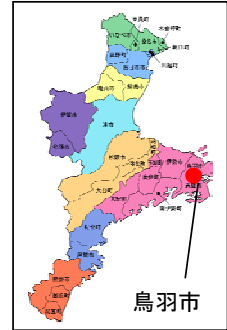
鳥羽駅・鳥羽バスセンター・佐田浜定期船のりば一帯の交通結節点としての連携をソフト施策によって高めるとともに、現在計画である佐田浜マリンターミナルにおいて質の高い交通結節機能の確保を図ります。

- (i)交通結節点での案内情報の改善
- (ii)交通結節点における情報発信設備の設置
- (iii)佐田浜マリンターミナル(計画)における結節機能の充実



鳥羽市地域公共交通会議 (旅客船モード)

平成18年12月28日設置
平成21年 3月 9日連携計画策定



概要

鳥羽市は、近鉄・JR、路線バス、市営定期航路等の多様な交通手段を有しています。また需要面でも市民の生活交通に加え、市の主要産業のひとつである観光産業に起因する観光交通を有しています。利用者数が減少する中で、路線バス・市営定期航路が一体となった「鳥羽市コミュニティ交通システム」の確立を目指し、様々な取り組みを進めます。(路線バスは別途掲載)

○新規開設航路の実証運航事業

・島周遊航路及び島間交流航路等新たな航路を実証運航し、交流人口(観光客の利用促進)増を図ると共に海上交通の利便性の向上を図る。

(i)循環航路の実証運航

- ① 循環線の新設: 島間交流、周遊観光への利便性の向上
- ② 高速船による運航: 運航に掛かる所要時間の緩和
- ③ 効率の良いダイヤの編成: 利用者の快適性、満足度の向上、運航基盤改善の進展、実験結果を踏まえ運航形態の改善・検証

(ii)新チケットの導入

- ① 周遊乗船券: 周遊観光を目的とした観光客の利便性の向上
- ② 往復乗船券: 離島宿泊者の往復利用促進、市民等の利便性の向上

○佐田浜マリンターミナル待合環境整備事業

・海の玄関口となる佐田浜港にターミナルの待合環境施設を充実し、「コミュニティ交通システム」の交通結節点として整備し効率化を図る。

- ① バリアフリー化による乗降時の安全と快適性を確保して、交通利用弱者でも利用しやすい待合施設とする
- ② 待合施設内に情報発信設備を設置し、鉄道やバスの乗り継ぎ利用案内をする

○高速船導入PR事業

・観光集客を中心としたPRで定期船利用を促進する。

- ① 高速船パンフレットと循環便ポスターの作成と配布PR
- ② 循環便航路のわかる時刻表の作成
- ③ ターミナル周辺にPRのぼりを立て集客をする

- 新規開設航路の実証運航
 - ・内回り便、外回り便
 - ・新チケット導入
- 佐田浜マリンターミナル待合環境整備
 - ・利便性向上、運航の効率化
- 高速船導入PR



凡例

- 路線バス・市営定期航路共通の事業
- 路線バスに関する事業
バス[路線バス網再編成]
- バス網再編成
 - 小浜・鳥羽小学校線
 - 小浜・簡保/小浜園線
 - 小浜・安楽島線
 - 鳥羽小学校・石鏡線
 - 鳥羽・国崎線
- 船
 - 市営定期船